ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

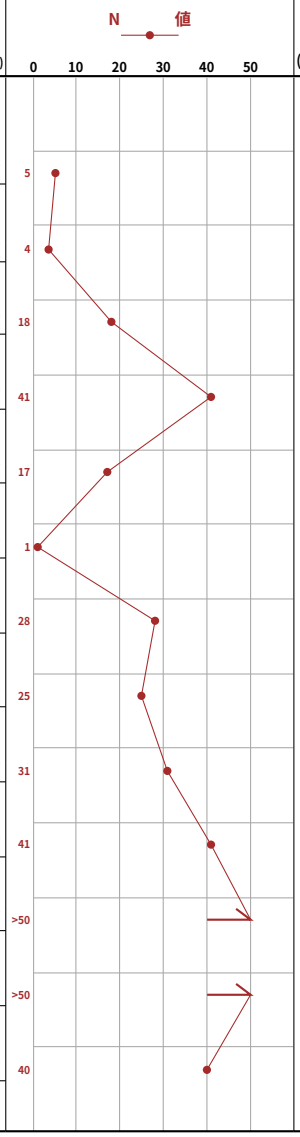
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	NO.B-2	調査位置				北　緯	36 ° 53 ' 50.0000 "
発注機関	栃木県大田原土木事務所　整備部			調査期間	2010-11-01 ～ 2010-11-05	東　経	140 ° 02 ' 20.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	230.14 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 18.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	13.45 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	228.24	1.90	1.90		埋土 (FI)	暗褐		中位	礫混じりシルト主体。 礫径10から50mm混じる。 不規則に礫が集中する。 含水比は下位から中位。		11/02 4.75
	226.79	1.45	3.35		砂混り粘土 (CH-S)	茶褐		中位	均一に細砂分混じる。 3.2mに粗砂を挟む。 含水比は下位から中位。 土質緩い。粘着性下位。		
	224.94	1.85	5.20		砂礫 (GS)	暗褐灰	中ぐらい		礫径5から65mm主体。 礫種は円・亜円礫主体。 間隙に粗粒砂充填。 含水比は下位から中位。 4.70mより含水比高位。		
	223.34	1.60	6.80		粘土 (CH)	茶褐		軟らかい	粘着性は中位。 含水比は下位から中位。 全体的に軟弱層となる。 6.40mより多く細砂分混じる。		
	216.69	6.65	13.45		粘土質砂礫 (GSC)	暗褐	中ぐらい 密な		礫径10から65mm主体。 礫種は円・亜円礫主体。 一部、風化礫混じる。 間隙に粘土分を多く含む粗粒砂充填。 含水比は下位から中位。 10.20mより最大礫径70mm混じる。 全体に土質締まる。 コア長5cmの玉石点在する。 固結状となる。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0-10	10-20	20-30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	2	2	5／30	5
1.45					
2.15	1／11	1／9	2／14	4／34	4
2.49					
3.15	1	2	15	18／30	18
3.45					
4.15	13	15	13	41／30	41
4.45					
5.15	10	3	4	17／30	17
5.45					
6.15	1／31			1／31	1
6.46					
7.15	8	7	13	28／30	28
7.45					
8.15	8	8	9	25／30	25
8.45					
9.15	9	10	12	31／30	31
9.45					
10.15	10	13	18	41／30	41
10.45					
11.15	11	17	22／9	50／29	>50
11.44					
12.15	11	17	22／9	50／29	>50
12.44					
13.15	12	13	15	40／30	40
13.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						11/02
						11/04